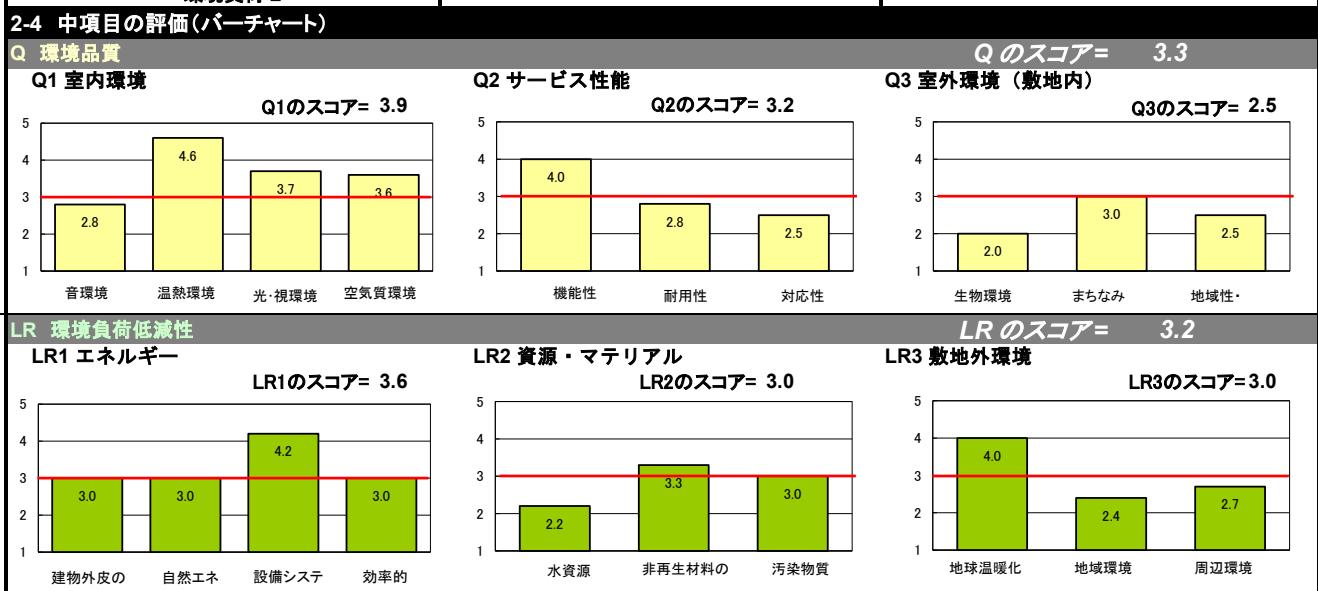
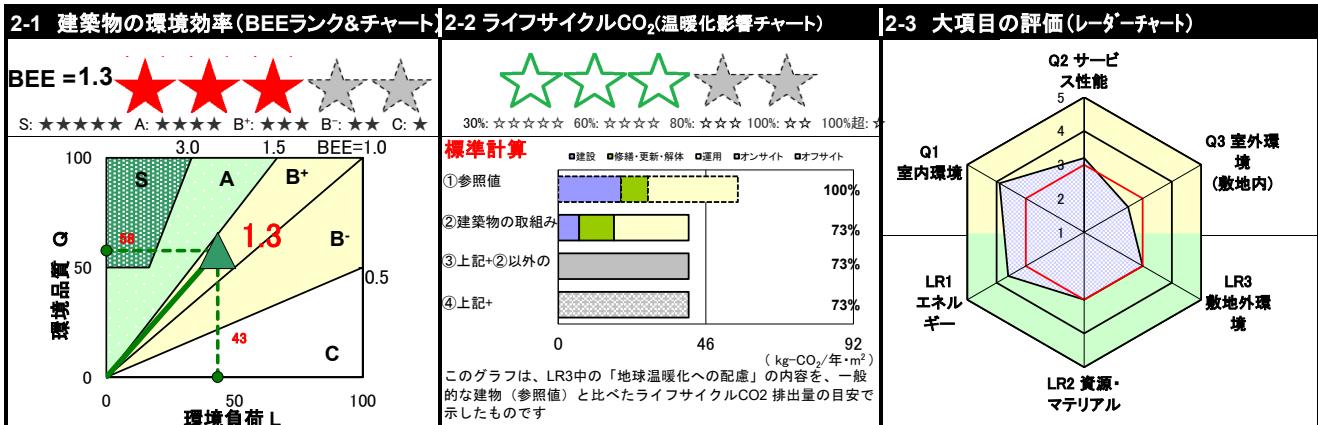




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市都筑区池辺町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県横浜市都筑区池辺町2276	構造	RC造
用途地域	準住居地域、第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	255 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,500 時間/年(想定)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2027年5月 予定	評価の実施日	2025年6月24日
敷地面積	3,010 m ²	作成者	竹澤ありさ
建築面積	1,357 m ²	確認日	2025年7月17日
延床面積	6,551 m ²	確認者	竹澤ありさ



3 設計上の配慮事項			
総合		その他	
省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷内に防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている		・複層ガラスを採用し、断熱性、防犯性、結露予防などに配慮している	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
・戸境壁は木軸下地二重壁を採用し、Dr値50を目標値として設定 ・F★★★★を床、壁、天井、天井裏の面積の70%以上に採用	・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定	・周辺環境に配慮した建物配置・外観デザインとし、景観創出に努めた。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
・住宅性能表示基準断熱等性能等級5を取得予定 ・潜熱回収型給湯器を採用 ・LED照明設備を採用	・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

受付日 2025年7月18日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市都筑区池辺町計画
新築工事

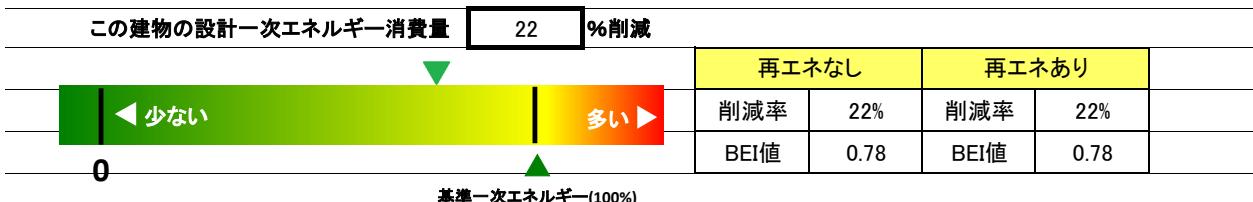
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅部:断熱性能等級4

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯主要内装仕上げ材の更新必要間隔 20年以上

⑯空間・給排水配管の更新必要間隔 30年以上

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑯生物環境 ⑯まちなみ・景観 ⑰地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入



配慮項目	重点項目		建物全体・共用部	住居・宿泊部分	全体
	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境					
1 音環境					
1.1 室内騒音レベル	2.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音	3.0	0.50	2.8	0.50	-
1 開口部遮音性能	3.0	1.00	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能	3.0	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	2.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音	3.0	-	3.0	-	-
2 溫熱環境					
2.1 室温制御	2.0	0.35	5.0	1.00	4.6
1 室温	3.0	0.50	5.0	1.00	-
2 外皮性能	3.0	0.63	-	-	-
3 ゾーン別制御性	3.0	0.38	5.0	1.00	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-
3 光・視環境					
3.1 昼光利用	1.5	0.25	4.0	1.00	3.7
1 昼光率	1.8	0.30	4.0	0.50	-
2 方位別開口	1.0	0.60	5.0	0.50	-
3 昼光利用設備	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策	2.0	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	快適・働きやすさ	⑩光環境	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	快適・働きやすさ	⑩光環境	-
4 空気質環境					
4.1 発生源対策	3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
1 化学汚染物質	4.0	0.60	4.0	0.63	-
4.2 換気	3.0	0.40	4.0	1.00	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.38	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-
4.3 運用管理	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-
Q2 サービス性能					
1 機能性					
1.1 機能性・使いやすさ	3.0	0.40	4.2	1.00	4.0
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.60	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	5.0	1.00
3 パリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-
1.2 心理性・快適性	3.0	0.30	3.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	0.50
1.3 維持管理	3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性					
2.1 耐震・免震・制震	2.8	0.30	-	-	2.8
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.50	-
2 免震・制震・制振性能	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.80	-
2.2 部品・部材の耐用年数	3.7	0.30	-	-	-
1 軸体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-
2.4 信頼性	1.4	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-
3 対応性・更新性					
3.1 空間のゆとり	3.0	0.30	2.5	1.00	2.5
1 階高のゆとり	3.0	-	2.0	0.50	-
2 空間の形状・自由さ	3.0	-	2.0	0.60	-
3.2 荷重のゆとり	3.0	-	3.0	0.40	-
			3.0	0.50	-

3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑯まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑰地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑯敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.2	0.50	-	-	4.2
集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	-	-	-	-	-
集合住宅の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.2	1.00	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	-
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-

上記以外の重点項目			-	-	-	-
<事務所用途>			-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑯知的生産性向上への取組	-	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-